

工事写真報告書

工 事 番 号 平成 29 年度

工 事 名 ○ 様 邸

工 事 箇 所 外壁・その他 塗装工事

工事住所 北九州市 小倉南区 下曾根

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



外観



外観



外観

屋根 漆喰

こちらは部分的に補修をおこない、漆喰の塗装をしていきます。

※漆喰を全てやり替える場合は別途費用

樋

こちらは塩ビ素材になります。劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



軒及び破風 ・ 庇

軒及び破風…経年劣化しております。軒と破風がモルタル仕様になっていますので、外壁と同等の塗料での施工をお勧め致します。

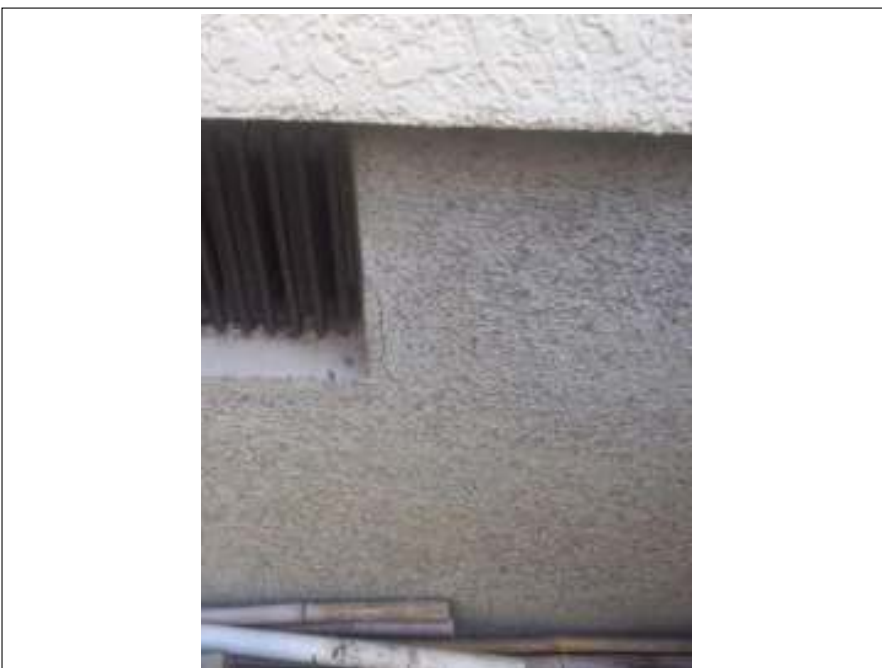
庇…この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



基礎 クラック部

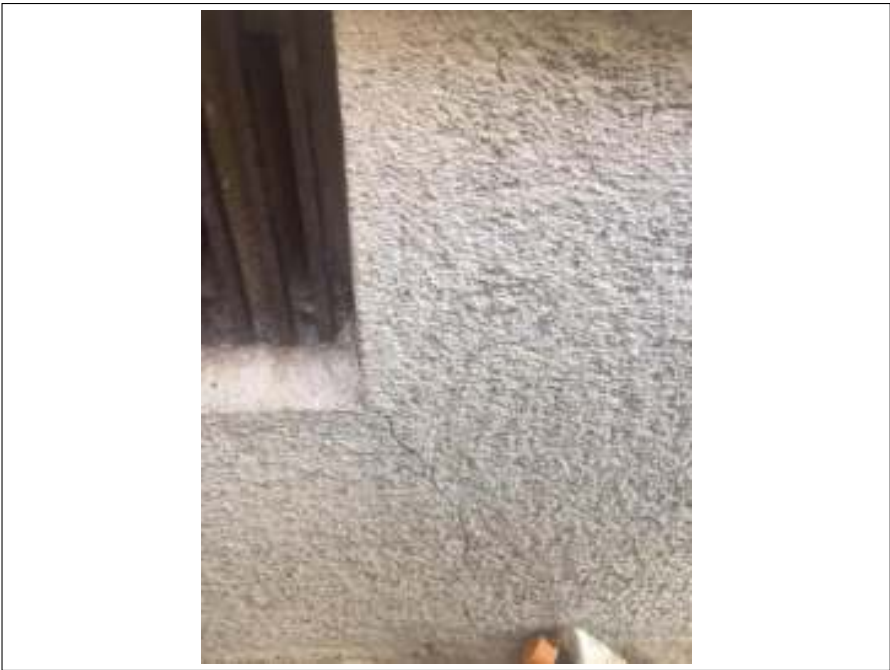
アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



基礎 クラック部

同上



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、防水面や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 補修部

この部分はローラーで肌ぼかしをして塗装をしていきます。



外壁 補修部

同上



外壁 補修部

同上



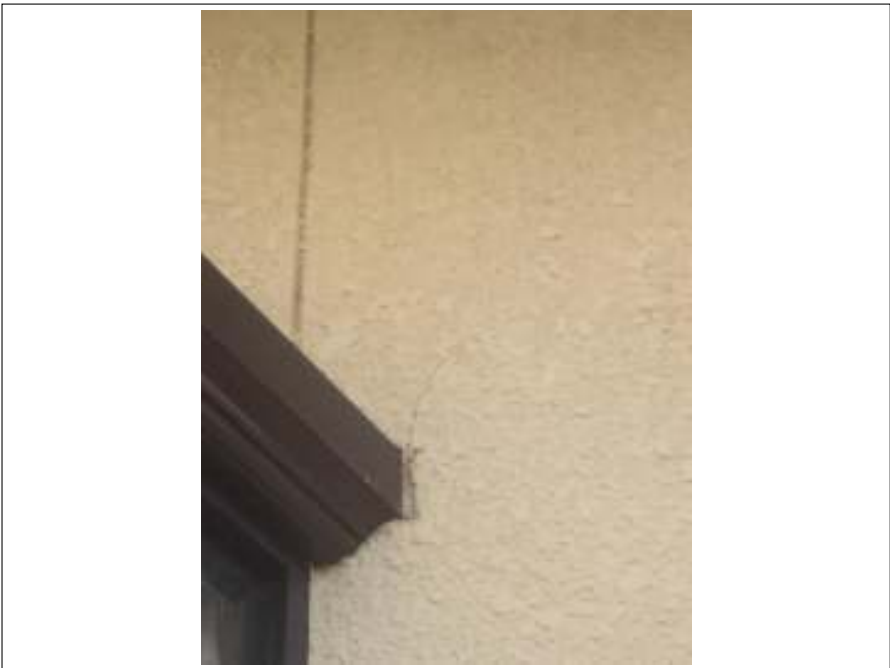
軒 クラック部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや
建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修をおこない塗装
をしていきます。



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

